

平成31年度 甲南学園 事業計画書

【基本方針】

今年度は学園創立100周年を迎え、甲南新世紀元年となる。

高等・中等教育をとりまく環境は、Society 5.0 と呼ばれる社会の中で技術革新が急速に進む一方、世界の政治・経済・社会・自然環境は混迷・混沌の度を増す状況にあり、この100年、人格の修養・健康の増進・個性尊重の知的教育からなる人物教育率先を掲げてきた甲南教育は、その真価が問われている。

甲南教育のこの理念の実現をはかるべく現代版のメッセージとして、大学はミディアムサイズの総合大学を掲げ、学問の広がりや質の高い教育を両立し、さまざまな融合を生み出すキャンパスの実現に取り組む。また革新的な融合の試みである KONAN プレミア・プロジェクトは、今や9つの柱のもと、個別プロジェクトは70近くにおよび、分野・領域・地域・国境をクロスする多様性の中にある。そうした中でも重点・集中化を図る教育・研究活動を引き続き展開する。また高等学校・中学校にあっては2コース制が定着し、生徒の将来を見据えた実践的グローバル教育・サイエンス教育そしてプロジェクトが行われ、学びに集い、正志く強く、共に成長する場となっている。国公立大学間での統合等が進む中、学校法人甲南学園が存在感を発揮し、新世紀を迎えてこれらの成果・取組みがより開花する環境を整え、継続し発展し続けることが次代につながる事となる。

改元元年度が学園にとって更なる飛躍のための元年度となるべく、引き続き教育・研究目標の達成に向け適切な予算措置を行う。様々に転変する環境に挑戦・適応する人材育成のため、取り組むべき課題は数多い。限りある資金・資源を最大限有効に配分できるよう、長期的・鳥瞰的な視野に立って予算編成に当たる。

これらの点を踏まえ、学園・大学・高等学校・中学校における平成31年度の実業を計画し、以下の方針に沿って予算を編成する。

1. 財政健全化のためのガイドライン

- (1) 事業活動収入に占める事業活動支出の割合は、98.0%を目安とする。創立100周年記念事業の施設の竣工を踏まえ、減価償却額を含めたトータルコストの改善を図るとともに、甲南新世紀を財政面で支えるべく収支改善に向けたさらなる見直しに努める。
- (2) KONAN プレミア・プロジェクトは、少人数・特色ある教育を展開するための基盤整備にかかる支出を含めて250百万円程度とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (3) 法科大学院・先端生命工学研究所に係る事業（いわゆる戦略プロジェクト）は、事業活動収入の5.0%以下とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (4) 資産運用収入（受取利息・配当金収入）は、理事長及び学長並びに校長より提案を受けた「21世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」及び「国際的に卓越した研究推進」等に重点配分する。また財源確保に努めつつも、安全で低リスクの資産運用を継続する。
- (5) 創立100周年記念事業については、その財源となる寄付金の増収を図るとともに、個別計画案件を盛り込む。
- (6) 人件費及び委託業務費は支出額が増加している実情を踏まえ、その金額及び必要性・実効性を精査・査定し、その効力を高めることに努める。

2. 基本金

基本金組入額は、100周年記念事業に係る投資分を除いて学生・教職員の安全確保のための施設改修、省エネルギー工事を推進し、キャンパスの環境充実・改善に努め、教育・研究充実のための施設・機器の更新・購入及び図書購入等、事業活動収入の8.0%程度とする。

【平成31年度の主な取組み】

I. 甲南学園創立100周年記念事業・記念行事

1. 記念事業の企画及び推進 ※経過も含めた今年度の継続取組み

学園創立100周年（平成31年、2019年）を記念し、Respectable KONAN of the World（“世界で通用する甲南”）を掲げ、以下の記念事業を企画し推進する。

- 甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育を目指して
圧倒的少人数 甲南 Active-Interactive 教育の実施、個性を力へ創生(成)する (individualization) 共通教育改革の推進、融合型グローバル教育の推進、高等学校・中学校 “世界に通用する紳士たれ” グローバル ハイレベル教育の実現等
- 甲南学園創立100周年記念事業募金（目標額20億円）
- KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 建設
平成29年9月竣工。その後、利用活況。
- 甲南大学白川台キャンパス セミナー・スポーツ施設拡充事業
平成30年3月完了。ゼミ・クラブ活動・合宿等による利用度大。
- 甲南高等学校・中学校100周年記念 教育環境整備事業
ICT教育環境整備（平成30年度完了）。晴雨兼用施設の充実 ースポーツ屋内練習場（平成28年10月竣工）・渡り通路屋根の充実（平成30年度完了）ー。甲友会館の機能向上に向けた改修（平成30年度完了）、グラウンドの雨水対策強化（人工芝化等の検討）。
- 100周年記念 “わがくるま 星につなぐ” 甲南の星奨学金給付制度（今年度より実施）
- 学園創立100周年記念出版・展示企画
学園100年史編集・刊行。伝記『平生鈞三郎』<昭和27年版>完全復刻（平成31年2月完成）。『平生鈞三郎日記』翻刻完成（平成31年2月全18巻完成・別途補巻を追加予定）、Respectable KONAN of the World と題し、輝かしき学園史を飾る資料の展示。学園史資料展示室リニューアル（平成29年9月完了、授業でも活用）。
- その他 学園創立100周年記念植樹（ヒラオヤナギ、カメラリア・フジコアーナ）

2. 各種記念行事等の実施

各種の100周年記念行事を実施し、学生/生徒・保護者・卒業生・教職員・地域・関係企業/団体等における祝賀ムードの醸成を図る。主な取組み事項・行事は以下のとおり。

- ① 学園創立100周年記念式典・祝賀会の実施（平成31年4月21日）
- ② 学園創立100周年記念音楽祭の実施（平成31年4月10日）
- ③ 「甲南学園創立100周年記念平生国際シンポジウム」シリーズの開催（平成30年12月・平成31年1月実施、今年度2回開催予定）
- ④ 学園創立100周年記念「小磯良平作品展」の開催（平成31年3月～4月）
- ⑤ 学園創立100周年記念冊子・記念グッズの製作
- ⑥ 学内外への積極的な広報活動

II. 甲南大学の教育改革

人物教育率先の理念をより高いレベルで実践し、世界に通じる研究力を教育や地域連携に積極的に生かし、新たな時代においても持続的に発展できる大学となるために、以下3つの「甲南新世紀ビジョン」実現を目指す。

- ① 圧倒的な教育力により、人物教育のクオリティ・リーダーと呼ばれる大学になる
- ② 世界に通じる特色ある研究力が教育に浸み出し、地域と連携して発展していることが社会に評価される大学になる
- ③ 融合力を発揮し、様々な環境変化に対応できる力、持続的に発展できる力を備えた大学になる

1. 教学新機軸の推進

「甲南新世紀ビジョン」の実現に向け、重要な施策として位置付けた以下5つの教学新機軸を平成30年度に引き続いて推進し、本学の教育の一層の魅力化、特色化および教育の質の向上を図る。

- (1) “顔がわかる”少人数教育の推進
- (2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進
- (3) 共通教育改革の推進
- (4) 融合型グローバル教育の推進
- (5) 地域連携・ボランティア教育の推進

2. Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

既存のキャンパス、体育施設などの各施設に加え、新たに整備したグローバルゾーン、Science Active Learning Commons (SaLaCo)、白川台キャンパス、iCommons を人物教育の拠点として、キャンパス全体の有機的な連携・魅力化を図り、相互啓発・融合・創発が起こるActive-Interactive キャンパスのさらなる充実化を進める。

特にActive-Interactive キャンパスの中核施設と言えるiCommonsにおいては、施設・設備を最大限に活用し、学生による様々な活動を全面的に力強く支援するほか、学内や地域に向けた多様なイベントを継続的に実施して、人物教育のシンボルとしての取組みを積極的に推進する。

3. 教育改革の基盤整備

高等教育を取り巻く環境変化のなかで、高等教育の質的転換や高大接続改革、さらには高等教育無償化等の社会的要請に対応していくとともに、「人生100年時代」や「超スマート社会(Society 5.0)」の到来も視野に入れて、大学院改革や生涯教育プログラムの構築に向けた検討に取り組む。

4. KONAN プレミア・プロジェクト

全学および各学部の特色ある方針・計画を実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出するための以下9つのテーマのもと、様々なプロジェクトを展開する。

- (1) KONAN つながるプロジェクト
- (2) KONAN スーパー人材育成プロジェクト
- (3) KONAN グローバル・バリアフリープロジェクト
- (4) KONAN スポーツ元気プロジェクト
- (5) KONAN スチューデント・サポートプロジェクト
- (6) KONAN スマート・ラーニングプロジェクト
- (7) KONAN “なりたい自分” キャリアデザイン支援プロジェクト
- (8) KONAN Research & Education プロジェクト
- (9) KONAN 大学教育基盤整備プロジェクト

III. 戦略事業の展開

平成16(2004)年度より戦略事業として展開している以下の事業を引き続き推進する。

■ 法科大学院の第3期プロジェクト6年目の実施（戦略プロジェクト最終年度として）

第3期プロジェクトの最終年度となるが、法科大学院制度がその理念を法曹の促成養成に転換する状況にあることを踏まえ、2020年度入学生(2019年9月入学生も含む)の募集を停止する。しかし引き続き、社会人に開かれた質の高い少人数教育を実施し、「昼夜開講」「秋入学」「西宮教室」に対応した学習指導を実施し、甲南学園の伝統を引き継ぐビジネスに強い「甲南ローヤー」育成に努めるほか、社会人が学びやすい、ICTを活用した西宮教室を継続・充実させるほか、他大学とも連携して弁護士等へのリカレント教育も継続する。なお、法科大学院は在籍者がいなくなった時点で閉じる。

また、法科大学院の募集停止に伴い設置した「法曹教育検討タスクフォース」を中心に、法科大学院の教育資産を生かし、本学の法学教育の更なる充実を図る方向性を検討して、フレームワーク案の作成に取り組む。

■ 先端生命工学研究所（FIBER）の第2期プロジェクト6年目の研究推進

「FIBER 第Ⅱ期計画」に基づく研究、および文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究・分子夾雑の生命化学」（平成29年から5年間）に採択された研究を推進し、分子混雑状態の中での核酸の機能の動態を解明し、先制核酸医工学や創薬等に活用できる成果を生むことを目指す。

また、日本学術振興会「二国間共同研究」（平成30年から2年間）に採択されたスロベニア国立NMRセンターとの共同研究のほか、核酸研究の国際的センターとして国内外の研究機関や大学と密に連携し、「神戸医療産業都市」をはじめとする地域連携、教育への還元や社会貢献活動などを進め、研究活動の促進につなげる。

【事業の概要】

IV. 大学・大学院関係

1. 教育

(1) “顔がわかる”少人数教育の推進〔教学新機軸（1）〕

大規模授業の少人数化などの授業規模最適化の推進。「学修ポートフォリオ」の活用促進。「KONANサーティフィケート」制度の充実。

(2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進〔教学新機軸（2）〕

教育の質的向上をはかるため、iCommonsの活用によるアクティブ・ラーニングを推進。ラーニング・コモンズの更なる充実・整備。グループワークにおけるファシリテーションやライティング・サポートの充実、学習支援に関わる学生アシスタントの育成等の支援体制整備によりアクティブ・ラーニングを特色化。学生同士の学び合いを促進するKONANラーニングサポート・サーティフィケートの新設。

(3) 共通教育改革の推進〔教学新機軸（3）〕

高校と大学の学びをスムーズに接続する「導入共通科目」、社会との接続を目的とした「キャリア創生共通科目」を安定的に実施。「共通応用演習」や「スポーツ健康プログラム（履修モデル）」新設等の内容充実・質的向上を図る。ノートテイキングやライティング指導を本格始動させ、より効果的なプログラムとなるような授業構成を検討する。加えて入学前教育についての有効な実施方法・内容を検討する。

(4) 融合型グローバル教育の推進〔教学新機軸（4）〕

どの学部にも入学しても専門科目を学修しながら外国語や国際社会に関する理解などを身につけることのできる「融合型グローバル教育」を推進。グローバル人材の素養である①チャレンジ精神、②多文化理解力、③タフネス、④主体的行動力、⑤英語によるコミュニケーション能力を涵養。留学希望学生の語学力伸長を目的とした「英語集中コース」の拡充。「KONANグローバル・サーティフィケート」を浸透・定着化。地域・行政・高校等とも連携したグローバルゾーン“Porte”の更なる充実・発展を図る。

(5) 地域連携・ボランティア教育の推進〔教学新機軸（5）〕

地域連携・ボランティアの拠点である「地域連携センター」を中心に、学生による地域連携やボランティアの諸活動を正課・課外の教育として展開。「KONANボランティア・サーティフィケート」のさらなる浸透・定着を図る。

(6) 教員養成体制の充実

教員組織を拡充・整備。「教育職員養成課程カリキュラム委員会」を活性化させ、教職課程の運営や教職指導の充実を図るほか、教員免許法改定に伴う再編後の教職課程カリキュラムを安定的に運用する。

(7) **公認心理師養成カリキュラム充実**

平成 30 年 4 月に新設した公認心理師養成センターにおいて、2 年目となる公認心理師養成カリキュラムの安定的な実施と充実を図る。新入生への適切な情報提供や「公認心理セミナー」実施等により、公認心理師を志望する学生を幅広く支援。

(8) **FD 活動等による教育力強化と学修支援体制の充実**

教員間の授業参観、意見交換、ワークショップ等の実施による FD 活動の推進。上級生が下級生の学習を多面的にサポートする TIL (Teaching is Learning) 制度の一層の充実。これらを通じたアクティブ・ラーニングの推進。学修ポートフォリオ、ジェネリックスキル測定、IR レポートの活用促進とシステム構築等によるデータに基づく教育の質的向上への取組み推進。

(9) **大学自己点検・評価の実施**

2020 年度の第 3 期認証評価受審に向けて、内部質保証体制を確立し PDCA サイクルを実践的に運用。前年度実施の期中検証結果から導き出された提言に基づき、内部質保証の基盤整備や体制等の見直し、方針等に基づく検証活動の徹底と実践、IR レポートのシステム化をはじめとした検証データの充実と利用環境の整備、検証活動の質的向上と均質化、機能別内部質保証委員会及び外部評価委員会の本格的稼働と体制整備を実施。これらを踏まえた自己点検・評価報告書の作成。

(10) **各種補助金制度への対応強化**

私立大学等改革総合支援事業への対応強化。本学の事業内容や計画・方針に適合する項目の確実・適切な申請・獲得を目指す。

2. 研究

(1) **学内の各種研究助成による研究支援**

「平生太郎基金」「伊藤忠兵衛基金」「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究・出版・外国人研究者招聘等への助成。

(2) **研究支援の強化、コンプライアンスへの対応**

各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制の強化、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組みの推進。大型公的研究資金の獲得を目指した学内研究グループに対する研究費補助と独創的・先進的な研究の促進。本学の研究力向上および研究ブランディングの推進。「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に対応した体制の整備、コンプライアンス教育、研究倫理教育の推進。

(3) **研究力の可視化**

甲南大学の高い研究力を可視化し学内外に公開。広く一般の方々にも分かりやすくアピール力のある WEB ページを構築して甲南の研究力を社会に発信することで、さらなる研究活動の活性化を目指す。

(4) **平生国際科学シンポジウムの開催**

甲南学園創立 100 周年記念平生国際科学シンポジウムとして、平成 30 年度の「KONAN RESEARCH SUMMIT」「International Symposium on Solar Energy Materials」に引き続き、「ラビリンチュラ国際会議」（仮称）等を開催。

(5) **知的財産の活用促進、管理体制の構築**

平成 30 年度に策定した「甲南大学知的財産戦略」に基づき、重点分野として定めた生命科学・環境科学・エネルギー科学・情報科学の分野を中心に、全学的・組織的に知的財産の適切な管理と有効活用を推進。

3. 学生支援活動

(1) 学生支援体制の整備・再構築

「YOU ステーション」にて修学支援コーディネーターを中心として実施している支援の更なる充実を目指し、支援体制を整備・再構築。学生ボランティアスタッフの育成にも注力。

(2) キャリア形成・就職支援

個々の学生の状況に応じたサポートと質の高い進路支援。多様化する就職試験への対策強化。増加傾向にある公務員志望者への支援充実。地方自治体との就職協定に基づいた連携強化。

(3) 甲南アスリートサポートプログラム（KASP）の実践

体育会に所属する学生に向けた修学・キャリア等の各種支援プログラムを改良。学業とスポーツを両立させた有意義な学生生活を送れるよう、充実したサポートを実施。

(4) 奨学金制度の充実

学園創立 100 周年記念事業の一環として新設した「わがくるま星につなぐ」甲南の星奨学金（入学前予約型給付奨学金）及び「甲南 100 周年記念荣誉特待生」の運用開始。

(5) 保護者との関係強化

「教育懇談会」の更なる改善・充実を図るほか、キャリアセンター・各学部での説明会・講演会、個別学修相談等を積極的に実施。

(6) 学生生活の支援

人物教育の一環として、学生と共に学生のマナーアップに取り組む体制を構築。学生を取りまく身近なトラブルの予防に向けた指導を強化。学生の健康保持・増進。KONAN スポーツ応援プロジェクト推進等による課外活動支援。

4. 社会連携・社会貢献活動

(1) 地域連携・高大接続の強化

「関西湾岸 SDGs チャレンジ」を継続実施。参加地域（高等学校・自治体）の拡大やプログラム改善を図り、本学の特色を生かした地域連携・高大接続活動としての発展を目指す。

(2) 自治体・企業等との連携

自治体、企業、各種団体等との連携を強化。兵庫県・神戸市のほか、瀬戸内・関西湾岸地域・中国四国の各自治体と結んだ協定活用等による連携活動を充実・発展。新たな協定締結に向けた活動を継続実施。

(3) 大学間連携の強化

文部科学省「平成30年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）【発展型Ⅰ】」の採択を踏まえ、「大学コンソーシアムひょうご神戸」の主要メンバーとしての大学間連携活動を一層強化。

(4) 産官学連携の推進

本学の知的資産の有効活用に向けた産業界・官公庁・協定機関との連携強化。研究力の可視化による学内外への研究成果の発信。神戸医療産業推進機構等との連携強化。

(5) 小学校・中学校・高等学校の児童・生徒等に向けた取組み

「ひらめき☆ときめきサイエンス（独立行政法人日本学術振興会）」「科学とあそぼ！2019」
「一日科学体験」「FIBER 未来博士アカデミー」のほか、子育て支援等の各種事業を実施。

(6) 教員免許更新制における免許状更新講習の支援

免許状更新講習の実施。教育委員会や現場教員との連携による免許状更新講習の支援。

(7) 生涯学習支援

公開講座、社会人講座、各種シンポジウム、ワークショップ等の積極的な開催。

5. 高大接続・学生募集・入学試験に係る活動

(1) アドミッションセンターの展開

「フリーキャンパスビジット」の更なる展開、デジタルサイネージの設置、プレゼンテーションルームの有効活用、図書・資料の充実等により、受験生等にとっての「大学のエントランス」としての機能を拡充。来訪者とのコミュニケーションを深める。

(2) 学生募集活動の強化

大学案内や受験生向け情報サイト『甲南 Ch.』のさらなる充実のほか、iCommons 活用等によるオープンキャンパスを始めとする各種イベントの魅力化を図る。さらに岡山県をはじめ中国・四国地方を重点エリアと位置付け、それらの地域における学生募集活動強化を図る。

(3) 高大接続の強化

「リサーチフェスタ」を本学の高大接続活動の中心の一つと位置付け、内容の充実と実施体制の整備・強化を図る。高等学校とのコミュニケーションの深化を目指して第2期高校訪問活動を開始するとともに、『KONAN DATA BOOK』『KONAN DIGEST』の継続活用と、必要に応じた改訂を実施。

(4) 指定校、協定校、系列校との連携強化

協定校・指定校等との関係強化を図るほか、重点指定校を設置し、積極的な働きかけを実施。甲南一貫教育の充実に向け「KONAN DAY」「甲南高等学校－甲南大学 引継式」を継続実施。

(5) 入試制度改革の推進

2021年度の入試制度改革を見据えた入試実施概要を公表。実施に向けた取組みを進捗させ、高校訪問、進学相談会、高校内ガイダンス等における周知・広報活動を積極的に実施。

6. 環境整備

(1) 教育環境・情報インフラの整備

アクティブ・ラーニングの充実に向け、無線 LAN 教室・エリアを拡充。学術ネットワーク回線「SINET」の利用環境改善を実施。

(2) 安心安全・快適なキャンパスづくり

既存の施設・設備の適切な管理と更新・改修工事を実施。中長期修繕計画を策定。

V. 高等学校・中学校

1. 教育

- ・ 創立 100 周年を迎えるにあたり、式辞、校長講話等を通じて、学園の歴史、創立の理念を理解させるとともに、新たな世紀への学校の教育方針を生徒及び保護者に伝達。
- ・ 100 周年記念行事として海外姉妹校を招聘。「姉妹校教育シンポジウム」を実施。
- ・ フロントランナー生を対象とした中学 2～3 年生の「サイエンスラボ」「グローバルラボ」、高校 2 年生の「ハイレベルサイエンスラボ」の実施。
- ・ 高校 1～3 年生のアドバンスト生を対象に「志厚き人類社会国家有用の材幹を養成」を体現する「キャリアデザイン」教育を実施し、OB 企業訪問や有識者による講演を実施。
- ・ 各界の第一線で活躍されている著名人を招聘した講演会「ソフィア」による人物教育の実施。
- ・ 中学 3 年生を対象に社会で活躍されている卒業生を招聘した「OB ワークショップ」の実施。
- ・ 「KONAN DAY」「甲南高等学校－甲南大学 引継式」等、甲南大学との連携強化。
- ・ 環境学習の実施による、甲南小学校・甲南女子中高・甲南大学との連携強化。

2. 学習活動・学校生活支援活動（進路支援活動含む）

- ・ 教育支援システム「classi」による学習サポート・進路指導等を強化。
- ・ ネイティブ教員が中心となってプログラムする「English Day」の実施。
- ・ 高校 1～3 年生のフロントランナー生を対象とした「学習合宿」の実施。
- ・ デジタル教科書の利用、授業の ICT 化、アクティブ・ラーニングの推進。

3. 環境整備

- ・ グラウンドの雨水対策強化（人工芝化等の検討）。
- ・ 安心安全のための施設・設備の整備、省エネルギー対策として LED 化の実施。
- ・ 特別教室（芸術教室・理科実験室）の AV 機器整備。

4. 生徒募集・入学試験に係る活動

- ・ 学校案内冊子のリニューアル、教育情報誌の活用や各種広告の掲載等により、本学の魅力を校内外に伝える様々な取組みを実施。
- ・ 入試説明会、学校訪問による生徒募集活動の強化。

5. その他の活動（国際交流活動）

- ・ 「グローバル・スタディ・プログラム」の一環としての高校2年生の海外留学実施。
- ・ 高校2年生フロンランナーコース生を対象としたNASAサイエンスツアーの実施。
- ・ 「グローバル・ファウンデーション」の一環としての中学3年生対象「スプリングセミナー」、及び希望者によるオーストラリア語学研修の実施。
- ・ ベトナムへのスタディツアー実施。
- ・ スーパー グローバル ハイスクール（SGH）アソシエイト校として、シンガポール国立大学による「グローバル・リンク・シンガポール」へ参加、研究テーマ発表。

VI. 法人

1. 管理運営

(1) 学園の資金計画等の策定

学園創立100周年記念事業の実施後、次の100年を見据えた中長期的な資金計画を策定。安定した管理を実現。学費改定効果の検証。

(2) 学園創立100周年記念事業募金活動

学園創立100周年記念事業募金活動のさらなる推進。

(3) 教育振興のための各種寄付金の受入れ強化

高等学校・中学校「教育振興募金」の活性化。

(4) リスク管理、労務・法務管理体制の強化

契約審査、法務相談、学内規程の整備体制の強化。特定個人情報を含めた個人情報保護体制の定着と強化。内部通報制度の構築。大規模災害発生時の連絡・安否確認体制の整備。

(5) 安定的な職員組織の構築、適正な人件費配分、快適な職場環境の維持・強化

職員採用の中期計画の策定と実行。職員の職能開発加速と適材適所の人員配置による有効かつ強力な職員組織の構築。ワーク・ライフ・バランスの実現と快適な職場環境の維持・強化を目指す。

2. 広報活動・卒業生との連携

(1) 学園創立100周年記念事業の広報

各種記念事業・行事の積極的な広報活動による学内外の祝賀ムードの醸成。学園の良き伝統と品格の高さを顕現させる有力紙掲載シリーズ継続。

(2) 広報活動の充実・ブランド強化

学生・生徒・保護者・同窓会・地域等との連携による「オール甲南」体制の構築、定期刊行物、WEB広報ツールの充実化。

(3) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

兵庫県立芸術文化センター、堺ブレイザーズ、西宮ストークスをはじめとする地域性の高い諸団体への支援。

(4) 卒業生との連携強化

広報誌『KONAN TODAY』の充実・発行、「オール甲南の集い」の共催、入学宣誓式への卒業生招待、同窓会との各種行事の共同開催、各地甲南会等との関係強化。

以上